

令和8年度事業計画

信楽高原鐵道 株式会社

1 基本方針

昭和62年7月に第三セクター鐵道として開業し、また、平成25年度からは公有民営方式への変更により、列車の運行のみを行う第二種鐵道事業者へと移行した。その後、台風災害に伴う長期運休やコロナ禍に伴う輸送人員の激減などを経験しながらも、地域の公共交通機関としての役割を果たしてきたところである。また、平成25年度から開始した鐵道事業再構築実施計画は、令和4年度で計画期間が終了したが、令和6年2月には、新たな鐵道事業再構築実施計画の認定を受けることができた。

当社は、今後においても引き続き、第三種鐵道事業者である甲賀市と連携しながら、安全で安定した運行により、地域の暮らしや産業を支える公共交通機関としての役割を果たすため、さらなる運営基盤の強化を進める。今後も安定した運営を確保するため、コロナ禍を契機とした社会情勢の変化や長期的な人口減少に対応した事業構造の確立をめざし、地域住民の利用促進と観光誘客、付帯事業の拡大による収入確保に努めるとともに、物価高騰等にも対応した効率的な事業運営に努め、全社員一丸となって経営改善を継続する。

2 事業計画

(1) 鐵道事業

コロナ禍を契機とした生活様式の変容による移動需要の減少や、原油価格をはじめとする物価の高騰、長期的な沿線人口の減少等、厳しい経営環境が続いているが、引き続き、地域住民の利用をさらに促進していくほか、新たな観光商品・企画商品の開発、営業活動等をより積極的に展開し、新規需要の創出に取り組む。特に令和8年度は、団体貸切列車の拡充、新しいグッズの開発等を行うほか、軌道自転車への乗車や車庫の開放による体験事業、各種イベントへの参画等、関係団体と連携した新たな鐵道関連収益事業の開発、検討を推進する。

また、鐵道施設の安全確保のため、施設を所有する第三種鐵道事業者である甲賀市において、枕木や軌道道床等の線路設備の整備、踏切設備の更新、車両検査等を実施する。

(2) 付帯事業

信楽駅待合所の活用、レンタサイクルの利用促進等に努める。

収 支 予 算 書

自 令和 8 年 4 月 1 日
至 令和 9 年 3 月 31 日

(単位 千円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較	備 考
1 営 業 収 入	187,191	179,705	7,486	
旅 客 収 入	81,927	81,153	774	
受 託 収 入	95,000	88,210	6,790	
運 輸 雑 収 入	10,264	10,342	△ 78	
2 営 業 外 収 入	1,300	1,118	182	
収 入 合 計	188,491	180,823	7,668	
1 営 業 費 用	181,660	173,540	8,120	
人 件 費	95,682	92,564	3,118	
修 繕 費	43,600	39,690	3,910	
動 力 費	10,800	9,600	1,200	
経 費	27,556	26,933	623	
諸 税	3,007	2,957	50	
減 価 償 却 費	1,015	1,796	△ 781	
2 営 業 外 費 用	6,067	6,974	△ 907	
費 用 合 計	187,727	180,514	7,213	
経 常 損 益	764	309	455	
税 引 前 損 益	764	309	455	

令和 7 年度 事業報告

信楽高原鐵道 株式会社

1 事業概要

当社は第三セクター鐵道として、安全で安定した地域公共交通の確保および利用者の拡大に努めてきたが、経営安定化を図るために、平成25年4月1日に公有民営方式に移行し、鐵道施設等の保有と運行の双方を行う第一種鐵道事業者から、鐵道施設等を保有する甲賀市より貸与を受けて列車の運行のみを行う第二種鐵道事業者に転換した。

令和7年度においても、安全・安定運行を第一に、第三種鐵道事業者である甲賀市との連携のもと、施設整備を着実に行ったほか、観光誘客を含む利用促進の取組を強力に展開した。

2 事業実績

(1) 鐵道事業

ア 旅客輸送事業

(ア) 輸送人員

332,446人（うち定期 225,480人、定期外 106,966人）

前年度と比べ、1.2%（3,812人）増となった。

(イ) 旅客輸送収入

73,691千円（うち定期35,216千円、定期外38,475千円）

前年度と比べ、0.9%（681千円）減となった。

イ 誘客事業

地元利用者および観光客の利用増加を図るため、以下の事業を行った。

- (ア) わたSHIGA輝く国スポ・障スポの開催を記念したラッピング列車、「障スポ号」の運行
- (イ) 信楽高原鐵道利用促進協議会との連携による「陶製干支切符」の販売
- (ウ) 近江鐵道株式会社との連携による「びわこ京阪奈線フリーきっぷ」の販売
- (エ) 西日本旅客鐵道株式会社・伊賀鐵道株式会社との連携による「お茶と忍びの里まるごと満喫パス」の販売
- (オ) イケタヌ総選挙の協賛企画として「たぬきっぷ」の販売
- (カ) スマートフォンアプリを利用した乗車券・定期乗車券の販売
- (キ) サンタ列車の運行
- (ク) ひな祭り列車の運行
- (ケ) 修景事業として、うしかい田んぼアート実行委員会との連携による田んぼアート
- (コ) 秋のしがらきフェスの実施

(2) 付帯事業

ア 駅構内店舗の賃貸事業

イ レンタサイクル事業

損 益 計 算 書

自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 8 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
鉄 道 事 業			
営 業 収 益	163,623,425	159,129,501	4,493,924
営 業 費	169,408,531	170,296,287	△ 887,756
営 業 利 益	△ 5,785,106	△ 11,166,786	5,381,680
付 帯 事 業			
営 業 収 益	4,867,386	4,832,012	35,374
営 業 費	1,303,689	1,180,051	123,638
営 業 利 益	3,563,697	3,651,961	△ 88,264
全 事 業 営 業 利 益	△ 2,221,409	△ 7,514,825	5,293,416
営 業 外 収 益			
受 取 利 息	237,014	46,423	190,591
そ の 他 の 収 益	1,427,198	1,723,861	△ 296,663
営 業 外 収 益 計	1,664,212	1,770,284	△ 106,072
営 業 外 費 用			
そ の 他 の 費 用	3,467,006	6,886,544	△ 3,419,538
営 業 外 費 用 計	3,467,006	6,886,544	△ 3,419,538
経 常 利 益	△ 4,024,203	△ 12,631,085	8,606,882
特 別 利 益			
補 助 金	2,800,000	2,800,000	—
そ の 他 特 別 利 益	—	—	—
特 別 利 益 計	2,800,000	2,800,000	—
特 別 損 失			
除 却 費	—	208,001	△ 208,001
特 別 損 失 計	—	208,001	△ 208,001
税 引 前 当 期 純 利 益	△ 1,224,203	△ 10,039,086	8,814,883
法人税・住民税及び事業税	340,590	311,403	29,187
過 年 度 法 人 税	—	—	—
当 期 純 利 益	△ 1,564,793	△ 10,350,489	8,785,696

貸 借 対 照 表

令和 8 年 3 月 31 日現在

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
I 資 産 の 部			
1 流 動 資 産			
現金・預金	85,642,156	80,203,057	5,439,099
未収運賃	821,700	816,090	5,610
未収金	33,044,668	35,092,690	△ 2,048,022
棚卸商品	1,283,441	1,350,299	△ 66,858
貯蔵品	1,245,840	1,119,084	126,756
その他流動資産	1,093,299	1,851,834	△ 758,535
流動資産合計	123,131,104	120,433,054	2,698,050
2 固 定 資 産			
(1)鉄道事業固定資産			
有形固定資産	1,980,651	3,407,390	△ 1,426,739
無形固定資産	540,137	580,137	△ 40,000
鉄道事業固定資産合計	2,520,788	3,987,527	△ 1,466,739
(2)投 資 等			
長期前払費用	7,720,814	11,187,820	△ 3,467,006
差入保証金	22,690	22,690	—
投資等合計	7,743,504	11,210,510	△ 3,467,006
固定資産合計	10,264,292	15,198,037	△ 4,933,745
3 繰 延 資 産	—	—	—
資 産 合 計	133,395,396	135,631,091	△ 2,235,695
II 負 債 の 部			
1 流 動 負 債			
買掛金	2,895,935	4,015,730	△ 1,119,795
未払金	848,481	1,452,285	△ 603,804
未払法人税等	1,746,300	1,629,600	116,700
未払費用	5,717,100	5,801,599	△ 84,499
預り連絡運賃	368,835	256,380	112,455
預り金	896,297	904,166	△ 7,869
前受運賃	1,964,670	1,977,420	△ 12,750
未払消費税	2,997,500	1,960,000	1,037,500
その他流動負債	34,860	—	34,860
流動負債合計	17,469,978	17,997,180	△ 527,202
2 固 定 負 債			
退職給付引当金	4,474,800	4,618,500	△ 143,700
固定負債合計	4,474,800	4,618,500	△ 143,700
負 債 合 計	21,944,778	22,615,680	△ 670,902

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
Ⅲ 純 資 産 の 部			
1 株 主 資 本			
資 本 金	432,000,000	432,000,000	—
利 益 剰 余 金	△ 320,549,382	△ 318,984,589	△ 1,564,793
純 資 産 合 計	111,450,618	113,015,411	△ 1,564,793
負 債 ・ 純 資 産 合 計	133,395,396	135,631,091	△ 2,235,695